




修明学園 平成二十六年度入試 合格速報



中学受験生のみなさん、合格おめでとう！

お茶の水女子大学 附属中学校	法政大学中学校	千代田区立 九段中等教育学校	山脇学園中学校	川村中学校	中村中学校 (特待)	日本大学 第一中学校	東海大学付属 浦安高等学校 中部	麹町学園 女子中学校	文京学院大学 女子中学校
共栄学園 中学校	足立学園 中学校	東京成徳大学 中学校	昭和学院 中学校	 <h3>本当にお疲れ様でした。</h3>					

塾報

しゅうめい

第23号

平成26年2月10日
発行 塾長 上谷恭範
〒111-0052
台東区柳橋1-26-3
TEL 03(3862)9218

H26年度高校入試直前

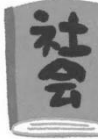
教科主任からアドバイス



都立高校入試に向けて

特に社会科の入試傾向と直前の勉強方法

塾長 上谷 良憲



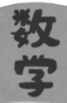
一 2月24日(月) 集合、午前8時30分、開始9時00分から。社会は第4時限午後1時10分から2時00分までの50分間、大問1〜4 満点100点。

二 内容 地理、歴史、公民の全分野からの基礎知識を問う問題である。問題文は長いが問うている中身は簡単。社会科の基本用語を知っていればすぐできる。資料、データの読み取りと相違をまたその資料の突出したところの特徴を解答に導いてく。記述式問題は平成22年④⑤に計3問、平成23年③④⑤⑥に計3問、平成24年③④⑤⑥に計3問、平成25年④⑤⑥に計4問、と例年必ず出題。出題方法は「一と二の資料を活用し簡単に述べよ。」という出題であるから、一と二の資料の相違点を50字〜60字で書けばよい。

三 これからの努力で20点取れる勉強方法
ポイント(1) 入試当日は昼休み午後0時10分から1時10分直前まで、歴史年代を全部読み直すこと。(冬期講習で使用した「すらす年代暗記」)
ポイント(2) 冬期講習で使用したプリント地理(日本、世界の地図プリント) 歴史(年代すらす暗記)、公民(日本国憲法)を何回でも読み暗記していく。

ポイント(3) 記述式問題について、6年間の過去問の中で記述式問題のみ拾い出して自分の答案をつくり、模範解答を自分で写して比べてみる。記述方法として文章は短く、主語と述語をはっきりとし、「理由を問う」問題なら「なぜなら」と書くか、終わりを「…だから。」で締める。字ははいねいに書くことが大切。
ポイント(4) 資料、データの読み取りが苦手な人は、6年間の過去問の中から、資料の問題のみピックアップして何回でも解いてみる。慣れることである。

ポイント(5) 体調万全で入試に臨む、健康管理は自己責任で行う。当日、少々風邪気味で熱があっても、くよくよ女々しくならず、堂々と胸張って試験会場に行く。それが青春の証だ。
今この瞬間をにがすな。がんばれ！



都立入試にむけて 数学のポイント

金子 義一

① 小問集合は得点源として確保してもらいたい。とくに作図については作図の定義をしっかり把握していないとただのお絵かきになるので注意をすること。
② では文字を用いた説明は、面積の表し方、数の表し方など分かる範囲まで記入するように。部分点が取れるかもしれません。

③ の関数は座標の表し方見方を間違えないように。ただ、グラフはとも正確に書かれてあるので、もし解き方が思いつかなければグラフから答えを導くことも可能。

④ 図形の証明は合同ないし相似であり、さほど難しいものではない。②と同様にわかる範囲(仮定など)は記入するように。又、計量については証明した図形を必ず使って解くことになっているので、フルに利用するように。
⑤ 空間図形は点の移動などから出題となる。ここでは時間がかかりとられてしまいうでしよう。全体を40〜45分くらいの目安で解き、見直しを忘れずに。

さて、中3のみなさんへ、あの魔の木曜日のことは一生の思い出となるはず。宿題直し入試問題演習で午前0時まで勉強しましたね。受験当日まで続けて下さい。

H26年度

都立高校入試

実施日：2/24(月)

- 9時00分～9時50分 国語
- 10時10分～11時00分 数学
- 11時20分～12時10分 英語
- 13時10分～14時00分 社会
- 14時20分～15時10分 理科

例年23日に行われていたが、東京マラソンと重なり、受験生の安全を考慮し変更となっています。

「都立入試 英語 最終アドバイス」
これで、きつと過去最高点が取れるよ

柴田 圭

2014年2月24日の都立入試で確実にベストな点数を取るために、こつこつ「秘訣」を教えます。昨年度の過去問の出題に従って、大問ごとに要点を絞って簡単に説明します。選択肢問題が多い都立入試において、出題傾向がほぼ同一と仮定して、誰でも今すぐに対策ができる方法のため、必見です。

1 リスニング問題

まず問題用紙を開いたら、「対話文1〜3」の選択肢を確認して、すぐに質問を予想しておくように心掛けましょう。昨年度の問題であれば、対話文1は「交通手段」、対話文2は「科目名」、対話文3は「時刻」がそれぞれ選択肢の中に記入されています。ですから、対話文1はおそらく「〜に行った時の乗り物は何ですか?」、対話文2はおそらく「〜の好きな・苦手な・勉強している科目は何ですか?」、対話文3はおそらく「〜が始まった・終わった・した時刻はいつですか?」等々と数パターンも考えることができるのです。放送が始まったら、対話文の選択肢に合わせた事柄についてのみ、耳を澄ませて聞き取り必ずメモを書き取れば、しつかり対応ができます。

2 総合問題

図表を利用した対話文の問題について、各問ともAとBの直前・直後の分の流れ・内容に注目し、図表を確認すれば、選択肢を消去法で絞り込み、残りが正答になるような問題作成になっていることに気が付くはず。次に、内容一致あるいは筆者の主張と合致する文を選択肢の問題では、最終段落の文(まとめの記述がある)を丁寧に読み、選択肢の文を照合させてみましょう。ほぼ同一の文があり正答を選び出すことができます。英作文は、テーマ内容に関する使える表現・英単語が文中にあるので、できるだけ利用しつつ必ず書くようにしましょう。白紙解答は回避できます。

3 会話文(長文読解)

4 物語(長文読解)

各設問のほとんどについて言えることですが、下線部の直前・直後の分の流れ・内容に注目し、選択肢の文を照合させてみましょう。ほぼ同一の文や表現があり正答を選び出すことができます。これまでの数力年分の過去問においても同様の出題傾向になっており、コツを押さえれば点数は取れます。

すべて1問4点です。ライバルとの差は「あと1問多く取る」とだけです。都立第一志望校の塾生の皆さん、「全員合格」健闘を祈ります。

「理科」受験の君たちへ

片桐 芳郎

「一点集中せよ!」 冬期講習理科の初日、受講生に向けた私の「檄」である。今回の講習の目的は、主として知識の再確認と、その知識をもつていかに問題に切り込むか、その切り込み方と集中力の醸成であった。

以下、改めて君たちが今年「理科」を受験する際のポイントを述べてみたい。

まず、例年都立入試は大設問が6問、そのうち大設問1が設問6問で各分野からの寄せ集め問題である。いわゆるサービズ問題・標準的問題が多く得点もし易いので、気合いで得点GETせよ。大設問2は今年もレポートを読んで答える問題が出題される可能性が極めて高い。これは特別な知識がなくても、また各分野のごく基礎的知識のみで解答可能である。全て選択式であるから、二つに絞ることができれば十分正解に辿り着ける問題ばかりである。大設問3以降は各分野に特化した問題が続くが、総じていわゆる難問は少ない。ただ各分野とも「実験」に関する問題が多く出題されるから、講習で勉強した以外でも授業で行ったあるいは教科書に載っている実験の「方法」・「結果」とそれに対する「考察」を合わせて再確認しておくが良い。また、複数の図を読み取る問題も出題されるので、教科書に載っている図を再度見しておくべきである。

そして、試験当日問題を解くにあたっては、何も最初から順番に解いていく必要は全くない。試験が始まったらまず落ち着いて全体を見渡し、得点できそうな問題から解いていけば良い。それが「受験の鉄則」である。一つの問題が解けると気持ちも落ち着く。落ち着くと頭が回転するようになる。覚えたものが思い出せるようになる。集中力が加速する。結果、『合格』を勝ち取ることができるのである。

講習の最終日、君たち全員が「分からなかった所が分かるようになった。講習を受けて良かった。有難うございました。」と言ってニコッと笑ったその晴れやかな笑顔に私は感動した。必ず、君たちは受かる。改めて、全ての受験生に言おう。一点集中!頑張り!

「進学準備」
特別講座開催中
科目: 英語・数学
対象: 新高1
新高1

「春期講習」
受付中
期間: 10日間
3/26~3/30
4/1 ~4/5

修明英語
スクール
Coming Soon

「新年度入塾説明会」
浅草橋 2/16・3/2・3/9 10:00~
高砂 2/16・3/2・3/16 10:00~
番町 2/22・3/8・3/22 13:00~
修明学園
http://www.syumei.co.jp
浅草橋教室 03-3862-9218
高砂教室 03-3650-7214
番町教室 03-3222-9170

高校受験のポイント 国語

上谷 修一郎

都立高校の国語の入試問題は、大問5問から構成されています。【1】、【2】が漢字の読み書き、【3】が小説・物語文、【4】が論説・説明文、【5】が古文・漢文解釈です。まず解き方に注意してください。【1】から順番に解いていき、最後に【5】を残すと時間切れになる可能性が高いです。【5】は古文・漢文が文章の中に含まれている簡単な説明文と考えれば解きやすい問題が多いので最初の方で解くようにしましょう。次に個々にポイントを見ていきます。【2】の漢字を書く問題は楷書で書くように常に指示があります。【3】は登場人物の心情表現の移り変わりやそれに対応する文章内容(セリフ、動作、風景描写等)に着目してください。記述問題は心情表現の対応が1か所ではなく2か所あり、それを組み合わせて書く問題が多いです。【4】は一般的な見解と著者の独自の見解とに分けて文章を読むようにしましょう。記述問題は文章を読んだうえで自分の意見を書くようにと指示があるので、文章を読んだことが分かるように最初に著者の見解を要約して書くようにしてください。【5】は古文・漢文の原文と現代語訳を丁寧に対応させるようにしましょう。抜き出し問題は原文なのか訳文なのかどちらを抜き出すのかを間違えないようにしてください。本番まで後僅かです。体調に注意して過去問演習を中心に自分がどういときか解答を間違えるのか自分のクセを見つけることが肝心です。みなさんの合格を信じています。